

## 平成24年 第14回帯広市教育委員会会議録

1. 平成24年8月20日月曜日 10時45分～11時5分  
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

日程第1	会議録署名委員の指名について
日程第2	その他(1) 今後の事業予定について
	その他(2) 寄附受納について
	その他

田中委員長

これから、平成24年第14回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(野原課長報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、門屋委員及び伊藤委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

西田指導主事

学校教育指導室の9月の事業予定についてご説明申し上げます。帯広市開拓130年・市制施行80年の記念事業の1つとして、おびひろキッズタウン2012を9月8日土曜日、帯広の森体育館で実施いたします。対象児童は小学校3・4年生、400名程度を募る予定ですが、今現在360名集まっております。目的は子どもたちの生きる力を育むため、職場体験や社会体験を通じて、働くことの意味や楽しさなどを体験する機会を提供します。主催は北海道コカ・コーラ株式会社となっておりますが、共催が帯広市、帯広市教育委員会となっております。市長部局と協力して進めているところでございます。以上です。

早川 所長

教育研究所の事業予定についてご説明申し上げます。平成24年度の帯広市教育研究会主催の教育講演会でございます。9月6日木曜日2時から、今年度は特別支援教育をテーマにしたパネルディスカッション形式で、パネリストとして北海道教育大学釧路校准教授の二宮氏、北海道緑ヶ丘病院医師の長沼氏、NPO法人ことばを育てる親の会北海道協議会副会長の福井氏、帯広市教育研究会の特別支援教育部会部長の角田教諭の4名のパネリストで行う予定となっております。なお、コーディネーターを帯広市教育研究会特別支援教育部会に属しております啓西小学校の北川教諭にお願いしております。各委員の皆様には、ご案内等が行っていると思いますので、お時間がございましたらお越しいただければと思います。以上です。

西尾 主幹

スポーツ振興室から2件お知らせいたします。まず、市民登山でございます。9月9日日曜日朝7時半に市役所を出発し、士幌町の白雲山へ向います。帯広市スポーツフェスティバルの一環として行います市民登山でございます。もう1つは、スケートキングダム、ユース3回目でございます。9月30日日曜日13時から明治北海道十勝オーバルで、ほっとドリームプロジェクトの競技者育成事業として行う高校生を対象としたもので、今年3回目になります。清水宏保氏、土井慎吾氏、ここに書いてございませんが、平子裕基氏

も参加いただける予定で、短距離、中距離、長距離が揃いますので、非常に中身の濃い技術指導ができるのではないかとということで、氷上の直接指導を行います。以上です。

吉田 館長

図書館から事業を5つご案内させていただきます。まず1つ目は、9月1日14時から、中城ふみ子の世界と題しまして、私で申しわけないのですが講師を務めさせていただきます、ふみ子とその時代の十勝の文学についてということで、昭和20年代の十勝の文学と中城ふみ子の係わりを話させていただこうと思っております。2つ目、語り手育成講習会入門編、9月8日土曜日13時30分から、幼児から小学校低学年を対象としたおはなし会の語り手として、これから活動したい方を対象とした初心者講座入門編を開催いたします。こちらは図書館の嘱託司書が担当いたします。3つ目、ふるさと再訪、戯曲「火山灰地」の素材地を巡ると題し、9月14日午前中はバスで火山灰地の縁の場所を巡ります。14時から講演会を行います。講師は郷土資料研究家の飛岡久さんをお願いする予定です。4つ目、児童文学作家の岩崎京子さん、たまたま十勝にいらっしゃるといってお話をいただきましたので、ご講演をお願いいたしました。9月29日土曜日14時から、幼年童話、戦争文学、歴史読み物などの著作で知られる方で、子どもたちに伝えたいことということで、どちらかというと大人を対象にした講演会をご希望でした。5つ目は、講座「うんこはどこに？そうじ屋さん・虫たちのはたらき」9月30日、4館連携事業です。百年記念館の伊藤学芸員さんに来ていただいて、ムシに虫もく展という展示会を開催し、森のそうじ屋さん、虫たちのはたらきを講演会で紹介させていただきます。以上です。

北沢 館長

百年記念館の事業を4つご紹介いたします。1つ目は、博物館講座、9月2日に屋外で実施する4館連携事業です。4館連携事業で散策マップを作成しており、これをもとに帯広図書館に集合し、史跡や自然を見つめなおそうということで、歩きながら楽しむという事業です。2つ目は、9月6日から8日、夜学講座アイヌ文化基礎知識講座です。4年前から開催しており、今年もこの日程でリウカを会場に当館の学芸員がアイヌ文化やアイヌ語の入門講座を開催します。3つ目、特別企画展でございます。8月4日から9月30日まで、発掘された十勝の遺跡、3万年前から人がいたという展示会を開催しております。これに関連する事業として、お手元にチラシをお配りしてございます。9月8日に十勝の考古学最前線を開催いたします。3名の十勝で活躍される研究者をお呼びして、それぞれの研究テーマを分かりやすく解説いただくことを考えてございます。これに関連する事業で9月9日と23日には、体験教室勾玉づくりも開催する予定でございます。次に博物館講座、レコードと音の文

化19ということで19回目を迎えます。狂言づくしの会の山内秋夫先生を講師にお迎えして毎年開催しております。リピーターも多く毎年100名近い参加者がございまして、当館でSPレコードやLPレコードを聴きながら、当時の音楽や背景などについて映像などを交えながら紹介する企画でございます。

高橋 園長

動物園から大人の1日飼育係についてご紹介いたします。日時は9月16日8時45分から17時30分までの1日日程になってございます。飼育係につきましては、それぞれ小学生、中・高生と年代ごとに応じた事業内容で行ってきておりますけれど、今回は大人の飼育係につきましては、18歳以上の大人を対象に行うものでございます。飼育係として1日、ただ単に飼育作業だけではなくて、イベントの補助とか、動物園の管理運営を全般にわたる業務を見ていただきながら、動物園に対する理解を深めてもらおうという企画になってございます。以上です。

田中委員長  
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

1点よろしいですか。図書館の語り手育成講習会についてお聞きしたいのですが、市内の各学校、幼稚園等で読み聞かせ、読み語りの活動は相当数行われていると思うのですが、語り手の動向について、実態としては市全体でどのくらいおられるのかお聞かせいただきたいと思います。

吉田 館長

入門講習会を卒業なさった方がすべて学校に行っているのかどうかは分からないのですが、今の段階で分かっているのは、ボランティアをしていらっしゃる方たちの中で、小学校20校へ行っていらっしゃる方が語り手講習会の入門編を卒業しています。入門編の後、ステップアップ編というのを続けて実施しているので、そちらで把握しています。

伊藤 委員

幼稚園や保育所にも波及されているのですか。

吉田 館長

そちらまでは申しわけございませんが把握しておりません。

田中委員長

語り手育成というのは今年で何年目になるのですか。

吉田 館長

平成14年から実施しています。最初の頃はステップアップ編がありませんでしたが、平成16年から初級だけではなくて、ステップアップ講座という形でも開催しており、10年前からになります。

市之川委員

図書館にお聞きします。こういう講演会や事業を決めるのはどのくらい前から決めるのですか。年度始めには決めてしまうのでしょうか。

吉田 館長

年度始めに決まればよろしいのですが、定例で行っておりますふるさと再訪など、バスの予約などがある事業につきましては、年度始めには決まるのですが、例えば、岩崎京子さんの講演のように飛び込みで入るものや職員の日程を合わせながら行うものもあります。4月頃には年間スケジュールで、だいたい9月くらいとか大

きなものはだいたい決まっています。

市之川委員

分かりました。百年記念館にお伺いします。9月2日の緑ヶ丘公園をぶらり散策というのは、このような取り組みは今回が初めてなのか、以前他の地域でも行ったのでしょうか。

北沢 館長

このルートで博物館講座として取り組むのは今回が初めてでございます。駅から様々なルートで公園まで歩くと、とうきび2本くらいのカロリーが減ったというような公園散策マップがあるのですが、それを生かそうという今回の企画です。それぞれの見所がございますので、知識を持っている学芸員が付いて歩くというものでございます。

市之川委員

今後もし機会があれば違う地区を計画しようとお考えですか。

北沢 館長

今回の反応を見て考えたいと思いますが、4館連携なものですから、図書館から公園あたりがちょうど連携ゾーンではないかと考えております。今回の反応を見ながら、様々なことを考えてまいりたいと思います。

市之川委員

分かりました。それと動物園の大人の飼育係についてお聞きします。定員は何名くらいですか。1人につき1人が付いて、1動物を見るのか、いろんなどころへ行くのか教えてください。

高橋 園長

大人の1日飼育係については定員4名とさせていただいています。小・中学生についてはもう少し多いのですけれど、それぞれの飼育員に付いて1日体験をしていただきます。先ほどイベント補助というお話をさせていただきましたけれども、その日おやこ d e z o o という子どもとお父さんお母さんを対象にしたイベントがございますので、一緒に参加しながら、指導にもあたっていただくという企画で考えております。

門屋 委員

キッズタウンについてですが、これは初めて行うものですか。

西田指導主事

今年初めての実施となります。

門屋 委員

来年度以降もコカ・コーラが継続してやるという話はないのでしょうか。

西田指導主事

まだ、はっきりしたことは申し上げられませんが、今検討している段階でございます。

門屋 委員

キッズタウンというのは楽しそうですね。他の地域でやっているのを見たことがあるのですけれど、定例化するのにはスポンサーが必要なので大変だと思いますけれども、私の希望ということです。

田中委員長

先ほど360名集まっているというお話でしたが、市内小学校3・4年生のうちの360人というのは、意外というか、かなり多いなと思いました。他の地域ではすごく多いと聞いていましたが、人気があるのだなと感じました。

西田指導主事

他の地域でも350人くらいだと思います。予想以上に集まっております。

田中委員長 他になければ、質疑を終結し、本件を終了いたします。  
 その他（２）寄附受納についてを議題といたします。  
 直ちに説明を求めます。

稗田事務長 南商業高校の寄附受納についてご報告いたします。議案書５ページをご覧ください。寄附者につきましては、今回で５回目でございますけれども、ご本人の意向により公表しないこととさせていただいております。吹奏楽用楽器クラリネット２点、総額８３万５,８００円相当を平成２４年８月６日に受納しており、教育活動に活用していただきたいという趣旨でございます。平成２１年から今回で５回目、寄附総額１,７６２万１,６００円相当となっております。以上です。

西尾 主幹 スポーツ振興室から現金の寄附をご報告いたします。札幌市にお住まいの〇〇〇〇様から、平成２４年８月７日に現金３万２千円のご寄附をいただいております。帯広のスポーツ振興に役立てていただきたいということで、帯広市スポーツ振興基金に積み立てるものでございます。

吉田 館長 図書館から物品の寄附でございます。札幌市にございます北海道都市職員福祉協会様から、平成２４年７月３１日、視聴覚資料６点、１０万円相当、公益法人として市民生活にお役に立つようにという趣旨でご寄附いただいたものです。今回で１１回目の寄附で総額１１０万相当となります。以上です。

田中委員長 これから質疑に入ります。  
 各 委 員 ありません。  
 田中委員長 別になければ質疑を終結し、本件を終了いたします。  
 事務局からその他説明事項はありますか。  
 事務局 ありません。  
 田中委員長 事務局からの説明は以上であります。この際、各委員から他に  
 ご意見、ご質問等があればお受けいたします。  
 各 委 員 ありません。  
 田中委員長 別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。  
 以上で平成２４年第１４回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。